

ご自由にお持ち
ください

花と緑の情報をお届けします

Green Sketch

グリーンスケッチ

- 植物に親しむ 秋の園芸作業のポイント ③
- にいがた秋の散歩道 ④
- アドバイザーだより ⑤
- 読者の広場 ⑥
- 緑花センター掲示板 ⑦



にいがた「緑」の
100年物語に
参加しています。

特集「公園の魅力探訪 第三弾」

新潟県スポーツ公園

①

No.40

2008
AUTUMN



財団
法人

新潟県都市緑花センター

第2回県立都市公園・植物園写真コンテスト
風景部門 理事長賞「スワンの輝き」
写真撮影地：新潟県スポーツ公園

公園の 第3弾 魅力探訪

38号から、当センターが指定管理者として管理運営している県立公園の魅力について紹介しています。
今号では新潟県スポーツ公園を特集します。

スポーツやレクリエーションを楽しみ、緑にふれあう公園です。

新潟県スポーツ公園



①カナル周辺

②花見 ③ながたの森 ④紅葉

こんなところで

新潟市の市街地近くに広がる鳥屋野潟に隣接した県立鳥屋野潟公園は、大きく3つのエリアで構成されています。新潟市民病院前の鐘木地区、県立図書館周辺の女池地区、そして東北電力ビッグスワンスタジアムのある新潟県スポーツ公園となっています。

新潟県スポーツ公園は、平成10年に全国都市緑化にいがたフェアが開催された後、公園として再整備されて開園しました。現在、48.4haが開園しているこの公園は都市近郊にありながら緑や自然に親しめる場となっているだけでなく、国際スポーツの拠点、鳥屋野潟公園における総合スポーツゾーンとして位置づけられており、スタジアムのある公園としても広く皆様に親しまれています。

魅力は？

東北電力ビッグスワンスタジアム、東北電力スワンフィールド、多目的運動広場があり、子供から大人まで幅広くスポーツやレクリエーションを楽しめる公園です。

カナルや修景池、流れなどの水辺の空間や四季折々の花や野鳥などの生き物、季節ごとのイベントなど、スポーツだけでなく散策や花見、賑わいの場となっています。

公園のシンボルである長さ400m、幅30mの運河(カナル)が公園の中央を走り、両岸に桜並木や花壇、約100本ものイチョウが植栽され、公園利用者の憩いの場となっています。夜には照明が点灯し、昼間とは違った雰囲気が楽しめる人気のスポットとなっています。

交通アクセス

国道8号新潟バイパス女池インターから車で5分

住所:新潟市中央区清五郎

問い合わせ:鳥屋野潟スポーツ公園事務所 TEL.025-286-1080

<http://toyanogata.greenery-niigata.or.jp>

※スタジアム、スワンフィールドに関するお問い合わせは下記へご連絡ください。
スタジアム管理事務所 TEL.025-287-8811

お願い 公園をご利用される際は、必ずルールを守ってご利用ください。



運動広場



花壇作業

市民や地域の方々とともに、植物の手入れや美化活動などを公園サポーター活動として行っています。大勢の皆さんから参加していただき、活動を通して公園の魅力の再発見や愛着を感じていただくきっかけにしたいと思えます。

地域住民の方々とワークショップで計画され

市民、地域の皆さんと共に

ながたの森エリアは、百年かけて森をつくることを目標に苗木が植栽され、現在は生長した樹木の下の草刈りなどを行っています。花壇では花苗や球根の植付けなども行っています。これらの活動では、ながたの森を愛する会などの皆さんから協力をいただいています。

また、中学生の体験学習も積極的に受け入れており、公園の花壇作業で一緒に汗を流しました。

おすすめスポット

公園内のイタリアンレストラン「ラ・ピアンタ」は、緑に囲まれた空間でゆったりとくつろげます。テラス席では、心地よい風を感じながら休憩できます。昨年にリニューアルした店内は、落ち着いた雰囲気の中、本格的なイタリア料理を楽しむことができます。

ラ・ピアンタ
TEL025-286-6363
営業時間11:00～22:00



芝生広場

広い芝生で楽しむ

広い芝生も魅力の一つです。多目的運動広場と多目的芝生広場をあわせると約55,000㎡の面積になります。緑の芝生が広がる開放的な空間は、春や秋の行楽シーズンには平日は保育園や小学校の遠足で賑わい、土日は家族連れの利用が見られます。

多目的運動広場は貸切りでの利用が可能で有料施設です。南北2つのエリアがあり、野球もしくはサッカーコートがそれぞれ2面ずつあります。南エリアにはナイター照明が設置されており、夜間の利用もできます(6月から隔週で利用可)。チーム練習等に大勢の方が利用していただいています。

利用期間:4月1日から11月15日まで
(夜間利用は6月から)
利用料金:1団体2時間まで、1面のみ使用可。
一般(18歳以上) 4000円/時間、
青少年(18歳未満) 2000円/時間
夜間の利用の場合は、別途照明使用料が必要です。
予約・問合せは専用電話
TEL025-286-1147
(9:00～17:00)
※申込は利用日の1ヶ月前から予約を受付ます。



観察会のほかに、寄せ植えやフラワーアレンジメント、小枝や松ぼっくりなど自然素材でつくるクラフトなどの体験教室など、公園で楽しめる企画を開催しています。



観察会

公園では様々な植物が季節ごとに楽しめます。ウメやレンギョウなどの早春の花にはじまり、桜や花壇のチューリップ、ツツジなどが彩ります。散策しながら花々を觀賞してください。

花や緑、生き物に触れ合う

季節ごとのイベントを楽しむ

スポーツなどの大会のほかに、公園では季節毎に大小様々なイベントが開催されています。毎年4月下旬に、県主催の新潟県都市緑花フェアと新潟市南商工振興会主催のスプリングフェスティバルの合同イベントに、いがたカナル彩が開催され、春を代表するイベントとして例年大勢の人で賑わいます。

また、今年で3回目となるカナルキャンデルコンサートは、夏の夕暮れから夜の公園で楽しんでいただく企画として、8月30日に開催しました。当日は灯籠づくりや灯籠の配置、キャンデルの点灯にボランティアで一般の方々からお手伝いいただきました。あいにくの雨となりましたが、来場者の方々にキャンデルとコンサートを楽しんでいただきました。



春フェア



キャンデルナイト

担当職員からPRコメント

広々とした芝生広場やイチヨウ並木、広大なカナルの先には鳥屋野湯が広がり、スポーツ公園はとにかく開放的な雰囲気の公園です。芝生でのんびりくつろぐ人、スポーツを楽しむ人、楽器の練習をする人、自転車の練習をする親子連れなど、さまざまな目的の方から利用していただいています。

公園には、桜のトンネルやトンボがたくさん生息する自然生態園の池、ドングリが拾えるながたの森、夕方のカナル両岸を照らすライトなど、まだまだ魅力的なスポットがたくさんあります。四季折々に公園を訪れ、新たな魅力を発見していただきたいと思います。

植物に親しむ

樹木について

落葉広葉樹の剪定

落葉広葉樹は、落葉から春の萌芽までの間を休眠期といい、この時期であれば強い剪定も可能です。ただし、切り口が凍結する厳寒期や春の萌芽間際は好ましくありません。年内であれば落葉の始まる頃から12月まで、年明けは2月下旬頃から萌芽前までの間に剪定を行いましょ。

この時期の剪定は、葉が落ちて樹形がよくわかるので、不要枝や混みすぎた枝などを切除し、全体の樹形を整えます。

不要枝… 交差枝、下がり枝、立ち枝、ひこばえなど

花木は、春から伸びた枝に花を咲かせるサルスベリ、ムクゲなどは11月ないし来春の3月に行います。ハギは、地際から刈り取り。春咲きの花木は、すでに花芽ができています。花芽を切り落とすことになるので徒長枝を切り戻す程度にします。

常緑樹は寒さの害を受けやすいため、この時期は行いません。

秋の園芸作業のポイント

草花・球根について

秋植え球根の植え時です。新潟といえばチューリップですが、ほかにも様々な球根がありますので、いろいろ組み合わせさせてみましょう。草丈や開花時期、色どりを考えて植え付けます。クロッカスやチオノドクサ、ムスカリなどは球根をまとめて植え、春に小さな花が咲くと花壇のポイントとして楽しめます。



クロッカス



ムスカリ



チオノドクサ

※秋植え球根は暑さが苦手なため、暑い夏の間は休眠し、秋から春の間に生育開花する球根植物です。花芽が育って開花するためには、一定期間低温にあうことが必要です。種類や品種によって、その温度や期間が異なりますので、むやみに暖かくすれば早く咲くというものではありません。

10月上、中旬は天候も安定しますが、下旬になると風が冷たく感じられるようになります。11月にはいると、県内各地で紅葉を楽しめますが、下旬は時雨になることも多いので、その前に冬囲いなど冬への備えを始めましょう。

冬も楽しむ

花壇や鉢に球根を植えただけでは、冬の間寂しく感じます。そこで、寒さに強いパンジーやハボタン、デージー、プリムラ・ポリアンタなどを一緒に植えて、冬も楽しみましょう。



小さな鉢の寄植え
ビオラ、スイートアリッサム、ハボタンとクロッカスの球根を植えました。



大型コンテナの寄植え
ピンクのチューリップを中心に、白のクリサンセマム・パルドサム、紫のパンジーを組み合わせています。

① 弥彦菊まつり (弥彦村)

毎年彌彦神社境内で開催されている菊花展覧会です。質、出品品目において全国随一の規模を誇ります。県内外の菊作り愛好者が1年間丹精込めて育てた4000点が出展され、審査が行われます。

弥彦公園もみじ谷は例年10月下旬から11月中旬が見頃となっています。あわせてお楽しみください。

会場: 弥彦村弥彦 彌彦神社
開催期間: 11月1日(土)～11月24日(月・祝)
交通: JR弥彦駅から徒歩15分。北陸自動車道三条燕ICから車で25分。
問合せ: 弥彦観光協会 TEL.0256-94-3154

② 新潟菊まつり (新潟市)

昭和58年から開催されている新潟菊まつりは、新潟菊花会会員が丹精こめて育てた1000鉢が展示される新潟市最大の菊花展です。農林水産大臣賞をはじめ、各大臣賞、県知事賞等優れた作品をご覧ください。

会場: 新潟市中央区 万代シティパーク(万代シティバスセンター2階)
開催期間: 10月26日(日)～11月12日(水)
交通: JR新潟駅から徒歩10分。磐越自動車道新潟中央ICから車で20分。
問合せ: 新潟菊花会事務局 TEL.025-246-6429

③ 第23回魚沼菊花展 浦佐菊まつり (南魚沼市)

南魚沼市・魚沼市・十日町市・小千谷市・長岡市・湯沢町・津南町の菊育成家・愛好家が約1000鉢を展示し、品評会を開催します。入口には全国的にも珍しい、菊で作成する「菊歓迎アーチ」で皆様をお迎えします。

会場: 南魚沼市浦佐 普光寺
開催期間: 10月31日(金)～11月10日(月)
交通: JR浦佐駅から徒歩5分。関越自動車道小出ICより車で15分。
問合せ: 大和観光協会 TEL.025-777-3054

④ 長岡市秋まつり (長岡市)

秋まつりのイベントの一つとして菊花展が開催され、約700鉢の菊が展示されます。この他、錦鯉即売会・らんちゅう即売会や秋の味穫市が開かれます。※錦鯉即売会、らんちゅう品評会・即売会、秋の味穫市は11/1～11/3に開催。

会場: 長岡市千秋3丁目 千秋が原ふるさとの森
開催期間: 11月1日(土)～11月7日(金) 菊花展は11月2日～7日
交通: JR長岡駅より車で15分。北陸自動車道長岡ICから車で10分。
問合せ: 長岡市観光課 TEL.0258-39-2221

この他にも各地で開催されています。お近くの菊花展に足を運んでみてはいかがでしょうか。



にいがた

秋の散歩道

菊花展をご紹介します。

秋も深まり11月にはいと各地で菊花展が開催されます。現在の観賞用のキクは、古代の中国から伝わり、長い栽培の歴史のなかで、品種改良された園芸植物です。江戸時代の中期以降に、武士や町人の趣味や副業として、キクの栽培が広く普及したそうです。

菊花展では、さまざまな仕立て方や、豊富な種類、品種を一度に見ることができ、キクの魅力に直にふれることができます。これからは愛好家の方々が丹精こめて育てた見事な菊を、観賞する絶好の季節をむかえます。

※キクは総称で、一般に野山に自生する野生ギクと、イエギクと呼ばれる栽培ギクに大きく分かります。大菊(花径18cm以上)、中菊(9～12cm)、小菊(9cm以下)と、花の大きさで区別されるこの栽培ギク(イエギク)は開花期によっても夏ギク、秋ギク、寒ギクなどに分けられ、なかでももっとも多く栽培されるのは秋ギクです。秋ギクは、短日性の植物で、夏至を過ぎ日長時間が13～14時間以下になってきた時期に花芽をつくります。



菊花展で見られる菊をいくつか簡単に紹介します。



江戸菊

中菊のなかの江戸菊です。開花が進むにつれて花形が変化するため狂菊とも呼ばれます。



一文字

大菊のなかの一文字と呼ばれるもので、船底形の花弁です。自然の状態では花弁が垂れ下がるため、輪台の上に白い厚紙の台紙を敷き、支えています。



管物

大菊のなかの管物と呼ばれる花形のキクで、花弁が管状のものをさします。管の太さの違いで太い方から太管、間管、細管、針管の4つに分けられます。

『花と緑のアドバイザー』だより

当センターの「花と緑のアドバイザー」の方々から専門分野や緑化活動を通して、花と緑のまちづくりや県内の緑化をテーマにお話を伺います。

街なかにビオトープを

株式会社グリーンシグマ 佐藤 祥子

都市の緑には、草花や樹木で美しい景観を形成したり、防風や防音、延焼防止植栽などによって人間の生活環境をより快適に、安全にしてくれる機能がありますが、そのほかに、野生生物の生息地としての役割もあります。

私は、新潟市内の建設コンサルタント会社で公園緑地の計画・設計や、動植物の生息状況調査などの仕事をしていますが、最近では、生きものの生息に配慮した緑化が行われることも増えてきました。

「ビオトープ」という言葉を聞いたことのある方も多いと思います。

「ビオトープ」(ドイツ語:biotop)とは、[bio:生命]と[topos:場所]からの合成語で、生きものたちがお互いに関わり合いを持ちながら生息している、あるまとまりをもった場所、という意味です。最近では、学校や公園などの一角に池や水路を掘ったり、草や木を植えたりして、身近な生きものが観察できる場所としての「ビオトープ」が作られる例も見られるようになりました。このように、都市の中に人工的に作られた池



住宅地に作られた溜め池のビオトープ

や水路などもビオトープといえますが、広くは、森林や砂漠、海洋、極地なども、重要なビオトープです。規模やタイプが異なるたくさんのビオトープが平面的に、または空間的につながってネットワークを形成することによって、より多くの、そして多様な生きものが暮らせるようになります。

日本は周囲を海洋に囲まれ、国土の3分の2は森林です。という、日本にはビオトープがたくさんあるので、わざわざ人口の多い、地価の高い街なかに新たに作らなくてもいいのでは、と思われるかもしれませんが。

しかし、街なかにビオトープをつくって、生きものすみかを再生することは、実はとても大きな意味があります。



ザリガニ釣りを楽しむ子どもたち

野生の生きものの中には、里山や田んぼ、または人家のまわりなど、人間が草刈りや耕耘や水の管理をし続けることによってつくられた環境に適応して暮らしてきた生きものがたくさんいます。

子供の頃、近くの林でカブトムシを捕ったり、空き地でバッタやトンボを追いかけたり、用水路でゲンゴロウやタナゴやザリガニを捕ったりした経験をお持ちの方も、たくさんいらっしゃるのではないかと思います。最近では、そんな身近な生きものの棲める場所がどんどん少なくなっています。

身近な生きものが見られなくなった背景には、人間がより便利で効率的で快適な生活を追求してきた結果、ということがあります。生きものすみかを再生するためには、人間の快適性や効率を犠牲にしなければならないこともあり、考え方の大きな転換が求められます。

今、地球温暖化が大きな問題となっていますが、その進行を緩和するためには、持続可能な社会の仕組みへと転換していく必要があります。持続可能な社会とは、人間だけでなく、すべての生きものが共存していける社会といえます。そんなこれからの社会を担う子どもたちにこそ、身のまわりの小さな生きものとふれあう経験が大切であると思います。

街の中でも、生きもののためにちょっと手を加えることによって、ビオトープを作ることができます。

ビオトープづくりのポイントは、「野生の生きもの目線で考える」、ということです。

花と緑のアドバイザーとして、こうした街なかのビオトープづくりのお手伝いにも携われたらと思っています。



佐藤祥子氏プロフィール

千葉大学園芸学部環境緑地学科卒業。
新潟市内の建設コンサルタント会社で、主に公園や緑地の構想・計画・設計などの仕事に関わる。現在は、動植物の調査やビオトープの計画・設計・施工などにも携わる。
得意分野:造園(調査・計画・設計、ビオトープ計画設計施工)、自然環境(森林)、愛護団体・ボランティア(森林、公園)

花と緑のアドバイザーとは

当センターでは、花と緑に関して優れた知識・技術・技能等をお持ちの方々に「花と緑のアドバイザー」として登録しています。
花と緑の専門家の立場から、当センターの事業サポートのほか、県内で開催される花と緑に関する各種講習会、講座など様々な緑化活動の場へ講師、インストラクターとして派遣するものです。県、市町村、学校、緑化愛護団体、企業、一般市民等が実施する緑化講座や緑化学習会等が対象です。皆様ぜひ活用ください。

読者の広場

皆様からお寄せいただいた情報誌の感想や県内のおすすめの公園、花の見所をご紹介します。

生活空間の緑化の理想と現実、本当に差があります。もう少し若い人達にも、関心が芽生えて身近な事になればいいですね。
(7月29日アンケートハガキより 十日町市 金子さん)

街路樹が定番になってきている街並みの緑化でも、アドバイザーの方が言われるように、お手入れなしのジャマ扱いされているものも発見します。街路樹の緑や草花は、心をホッとさせ、笑顔にしてくれます。そこに住む住民で、負担にならないような手入れの方法とかがあるといいですね。
(7月31日アンケートハガキより 五泉市 山下さん)

コメント
前号の「花と緑のアドバイザーだより」に対するご意見をいただきました。若い人達や地域住民の方から身近な緑に関心を持ってもらい、手入れができれば、街の緑ももっと良くなっていきますね。

前号の植物に親しむの樹木の害虫を読んで、3年前にチャドクガに家族3人がやられた事が思い出されました。
(8月7日アンケートハガキより 十日町市 樋口さん)

コメント
年によって害虫の発生が多いときと少ないときがあるようです。チャドクガは発生しても気づきにくいことや、抜けた毒毛でもかぶれるので注意が必要です。

読者の広場 お便り募集!

読者の皆さまから県内のおすすめ公園情報や、花や緑に関するお便りを募集しています。字数は300字以内。住所、氏名、電話番号を明記の上、右宛先までお寄せ下さい。原稿や写真の返却は致しませんのでご了承ください。掲載にあたり趣旨は変えませんが若干の手直しをさせていただきますことがあります。なお、掲載させていただいた方には粗品をプレゼント!!とどしどしお寄せください。

夏休み、庭のひまわりが生き生きと咲いています。昨年のこぼれ種で、マリーゴールドも生い茂っています。生き物の生命力に驚き、子どもたちと感動している日々です。
(アンケートハガキより 新潟市 新田さん)

コメント
いろいろな体験を通じて、子どもたちが植物を育てる楽しさや植物への関心を深めてほしいものですね。

鳥屋野潟公園がおすすめです。子供達は小川の中に入れて大喜びです。大人は森林浴や鳥屋野潟へやって来る鳥達を見たりリラクセスできます。そして愛犬も連れて行けるので、とてもおすすめです。
(8月7日アンケートハガキより 新潟市 遠藤さん)

長岡の国営越後丘陵公園は、夜ライトアップする時があるので、それはキレイだし、昼間とは違う魅力があります。
(8月1日アンケートハガキより 三条市 馬場さん)

国営越後丘陵公園が大好きです。水辺の広場は音楽に合わせて噴水がウェーブするのでとても幻想的で子どもたちも大喜びです。
(アンケートハガキより 魚沼市 大桃さん)

コメント
家族や友人と楽しめる公園情報をお寄せいただきました。ありがとうございます。
この秋に訪れて良かった公園、秋におすすめの公園の情報をお待ちしています。どんな点が良かったのか、その理由もあわせて教えてくださいね。

宛先 〒950-0933 新潟市中央区清五郎58番地
(財)新潟県都市緑花センター 情報誌「読者の広場」係
FAX 025-257-8766 e-mail center@greenery-niigata.or.jp
(e-mail でのおたよりは添付形式にせずにお送りください)

植物クイズ

写真は何の花でしょう。秋に橙色の小花が集まって咲きます。香りを楽しめる樹木としても人気があります。モクセイ科の常緑広葉樹です。

- ①ギンモクセイ
- ②キンモクセイ
- ③ヒイラギモクセイ

答えを綴じ込みのアンケートハガキにご記入ください。正解者の中から抽選で5名様に粗品を進呈します。クイズの締切は12月10日(必着)です。クイズの答えと当選者は次号に掲載します。



39号植物クイズ当選者発表

正解は①**ネムノキ**でした。当選者は以下の方々です。おめでとうございます。

- | | | |
|----|----|-----|
| 佐藤 | 敦子 | 上越市 |
| 加藤 | 陽子 | 長岡市 |
| 小嶋 | 和枝 | 胎内市 |
| 林 | 豪信 | 五泉市 |
| 安部 | 博 | 村上市 |

緑花センター 掲示板

このコーナーでは、緑花センターの事業紹介や
緑花センターが指定管理者となっている
県立公園の情報をお届けします。

公園 ニュース

11～12月の
イベント情報などを
ご紹介します。

花と緑の教室～クリスマス企画～

○松ぼっくりの クリスマスツリー づくり

開催日時：11月24日（祝・月）
10:00～12:00
定員20名 参加費100円



イメージ写真

○みんなで楽しむクリスマス

～自然素材で
オリジナルツリーを
作ってみよう!～

講師：園芸福祉にいがた
12月7日（日）13:00～15:00
定員20名 参加費300円

※会場はどちらも新潟県スポーツ公園レストハウスです。
事前に申込みが必要です。電話で申込みください。

問合せ・申込みは新潟県スポーツ公園 TEL.025-286-1080
<http://toyanogata.greenery-niigata.or.jp/>

自然の素材を使って楽しむクラフト

松ぼっくりツリーをつくらう

12月14日（日）10:00～
定員20名 参加費無料
会場：紫雲寺記念公園事務所
問合せ・申込みは県立紫雲寺記念公園 TEL.0254-41-3740
<http://shiunji.greenery-niigata.or.jp>

クリスマス展開催!

新潟県立植物園は、今年の12月に
10周年を迎えます。この時期は毎年
恒例となった観賞温室企画展示の
クリスマス展を行います。今回は11
月12日（水）から、青のイルミネー
ションで装飾された巨大ツリーをご
覧いただけます。一足早いクリスマス
をお楽しみください。



一昨年のクリスマス展

12月20日（土）、21日（日）、23日（火・祝）
開館時間延長18:30閉館（最終入館18:00）
12月23日（火・祝）クリスマスミニコンサート
展示期間：11月12日（水）～12月26日（金）
温室開館時間9:30～16:30（入館は16:00まで）
新潟県立植物園 TEL.0250-24-6465
<http://botanical.greenery-niigata.or.jp>

※小中学生は土日祝日の温室入館料が無料です。

緑花センター 事務局からの お知らせ

秋の公園サポーター活動 参加者募集!

県民、地域の方々が、公園で花や
緑に親しむ機会を提供する活動
を行っています。
秋の活動の参加者を募集してい
ます。参加希望者は事前に申込み
ください。

秋のハーブ植栽

開催日時：11月16日（日）
10:30から12:00
開催場所：カナル橋脇
秋植えのハーブを植栽します。
新潟県スポーツ公園
TEL.025-286-1080



ハーブ花壇

写真コンテスト&PR標語コンクール受賞作品決定!

「2008県立都市公園・まちなか緑花写真コンテスト」の受賞作品が
9点、「県立都市公園PR標語コンクール」の受賞作品が15点決定し
ました。受賞作品については、次号にて紹介します。
現在、受賞作品展を行っていますので、ぜひご来場ください。

10月 4日（土）～10月26日（日） 県立植物園観賞温室
（温室入館料が必要です）
10月28日（火）～11月13日（木） 新潟県スポーツ公園レストハウス
11月14日（金）～11月30日（日） 県立大潟水と森公園休憩棟

グリーンスケッチは県関係機関、各市町村、主な図書館、病院などに配布しています。直接配布を希望の方は下記連絡先「情報誌係」までご連絡下さい。



財団
法人

新潟県都市緑花センター

950-0933 新潟市中央区清五郎58番地 TEL 025-257-8711 FAX 025-257-8766
E-mail center@greenery-niigata.or.jp URL <http://www.greenery-niigata.or.jp>



登録範囲は、事務局、鳥屋野潟
スポーツ公園事務所（園地）、
紫雲寺記念公園事務所、県立
植物園です。

